

党利党略、大義のない
連立政権

国民は議員定数の

削減など求めていません!

6月末の通常国会閉会以後、自民党総裁選などで4か月間もの政治空白が続いたあげく、ようやく10月21日に臨時国会が開会しました。

日本維新の会が自民党と連立するにあたって結んだ「政策合意」は、4兆円もの医療費削減、いっそうの軍備拡大、武器輸出の促進、「スパイ防止法」制定など、物価高にあえぐ国民生活そっちのけの悪政メニューばかりです。

維新が連立の前提としていた「企業・団体献金の禁止」は「継続して議論していく」とうやむやにし、それをごまかすために国民が望んでもいない「議員定数削減」を臨時国会で行うことを強く求めています。日本の国会議員数は諸外国と比較しても少ないほうで、これ以上減らしたら広範な民意が国会に届かなくなります。

国民が国会に求めているのは議員を減らす議論ではなく、消費税の減税など長引く物価高騰から国民生活をどう守るかの議論です。党利党略で誕生した大義のない連立政権の横暴を許さない世論を広げましょう。

議員定数の削減より
国民生活の議論して!



無実の人也有罪に

スパイ防止法は

現代の魔女裁判!

自民・国民民主・維新・参政各党が「スパイ防止法」制定を狙っています。

1985年の「国家秘密法案」は「国家秘密」の範囲がいまいちなうえ市民の日常まで監視と処罰の対象とする悪法で、自民党内部からも反対の声があがり廃案になりました。

推進勢力は、具体的な事実も示さずに「日本はスパイ天国」などと主張しています。スパイ防止法の狙いは国民を監視する体制作りにあります。戦争に反対した人たちを弾圧・殺害した戦前の治安維持法の再来であり、無実の人也有罪にできる現代の魔女裁判法です。市民社会の自由を守るため、憲法違反の可能性が高い「スパイ防止法」を必ず廃案にしましょう。

憲法共同センター(戦争する国づくりストップ!憲法を守り・いかす共同センター)

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館 4F
TEL 03 (5842) 5611 FAX 03 (5842) 5620
<https://www.kyodo-center.jp/>

2025.11



kyodo-center.jp